

中間評価において研究計画の見直しを求める4課題について
(平成24年12月27日最先端研究開発支援プログラム推進チーム会合とりまとめ)

中心研究者名	研究領域	研究課題名	指摘事項
1 栗原 優	機器・システム開発	Mega-ton Water System	メガトンシステムを実現するためのコア技術を明らかにして最終的な成果目標を明確にするとともに、この成果目標の達成に向けた研究計画の見直しを求める。
2 瀬川 浩司	物質材料	低炭素社会に資する有機系太陽電池の開発～複数の産業群の連携による次世代太陽電池技術開発と新産業創成～	中心研究者の革新的技術を明確化し、それを実現するための道筋を明らかにし、研究資源の重点投入を図る研究計画の見直しを求める。
3 水野 哲孝	物質材料	高性能蓄電デバイス創製に向けた革新的基盤研究	中心研究者のコアコンピタンスである新原理電池の強化に向けて、研究資源の重点投入を図る研究計画の見直しを求める。
4 柳沢 正史	ライフサイエンス	高次精神活動の分子基盤解明とその制御法の開発	「睡眠覚醒の根本的なメカニズム」の解明、高次精神活動の制御法の確立に向けた成果目標と見通しを明確にしたうえで、一層の研究加速が図られるよう研究計画の見直しを求める。